

# 豊栄病院 ニュース

# 令和7年2月号

新潟市北区では平成29年度に、山口クリニック・山口正康医師が中心となり、「もの忘れ検診」を立ち上げました。北区健康福祉課、当院含めた北区の病院、診療所が一丸となり、現在までこの検診が続いています。おそらく、新潟市西区で1~2年前から北区を手本として、もの忘れ検診を始めたようですが、他の新潟県内の市町村でこのような取り組みを行っている所はないものと思います。この検診は、新潟市特定健診の受診者のうち65歳以上で希望される方に行っています。簡単な質問を3つ行い①異常なし②要経過観察③要精密検査のいずれかに判定し、②・③に該当した方に対して、地域包括支援センターへの案内、精密検査を行う医療機関への紹介状をお渡しすることになっています。

受診者	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年4~11月	合計
異常なし	2,232(97.1%)	1,376(98.8%)	1,131(98.4%)	975(99.6%)	866(98.9%)	864(99.0%)	804(98.2%)	602(99.2%)	8,850(98.4%)
要経過観察	44(1.9%)	4(0.3%)	7(0.6%)	1(0.1%)	4(0.4%)	3(0.3%)	3(0.4%)	1(0.2%)	67(0.7%)
要精密検査	23(1.0%)	13(0.9%)	12(1.0%)	3(0.3%)	6(0.7%)	6(0.7%)	12(1.4%)	4(0.6%)	79(0.9%)
合計	2,299	1,393	1,150	979	876	873	819	607	8,996

実際、北区もの忘れ検診の平成29年4月から令和6年11月までの受診状況は、8996名の方が受診し、要経過観察67名(全体の約0.7%)要精密検査79名(全体の約0.9%)と判定されています。要精密検査79名のうち61名が精検医療機関を受診し、アルツハイマー型認知症27名、脳血管性認知症2名、その他認知症3名、軽度認知障害(MCI)20名と診断され治療につながっています。また平成30年度からは地域包括支援センターやケアマネージャーが、要経過観察者及び要精検者全員に地域でのフォロー支援に関わっています。地域の種々サービスなどにつながった方も多いです。

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784

フォロー状況は北区を經由し、かかりつけの医師に書面で報告しています(下図。文章含め新潟市北区健康福祉課が医療関係機関に対して発行した“北区もの忘れ検診通信・令和6年度号”を引用させていただきました)。

この様に、検診をやりっぱなしで終わっていないところが、この「新潟市北区もの忘れ検診」の優れた所と思います。なお、新潟市医師会誌2020年9月号に山口医師を筆頭著者にして“北区における「もの忘れ検診」の取り組み”が掲載されていますので、興味がある方は、ネットで検索してみてください。

## 地域包括支援センターフォロー状況についてご報告します

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年4~11月	合計
阿賀北	4	10	-	1	2	4	-	21
くずつか	8	5	3	4	5	10	3	38
上土地亀	5	4	1	5	2	1	-	18
合計	17	19	4	10	9	15	3	77

※令和6年11月受診2名(要経過観察1名、要精密検査1名)については、今後北区より地域包括支援センターへ連絡予定です。



今年の節分は2月2日です。節分とは、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことですが、現在では主に立春の前日を指すようになりました。季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると信じられていたため、鬼を退治する効果があるとされる豆を投げる風習が広まったのが、節分の定番の「豆まき」です。小さなお子様がいる家庭では鬼の面をつけて行っているでしょうか。

発行責任者・文責;豊栄病院広報係 宮島 透